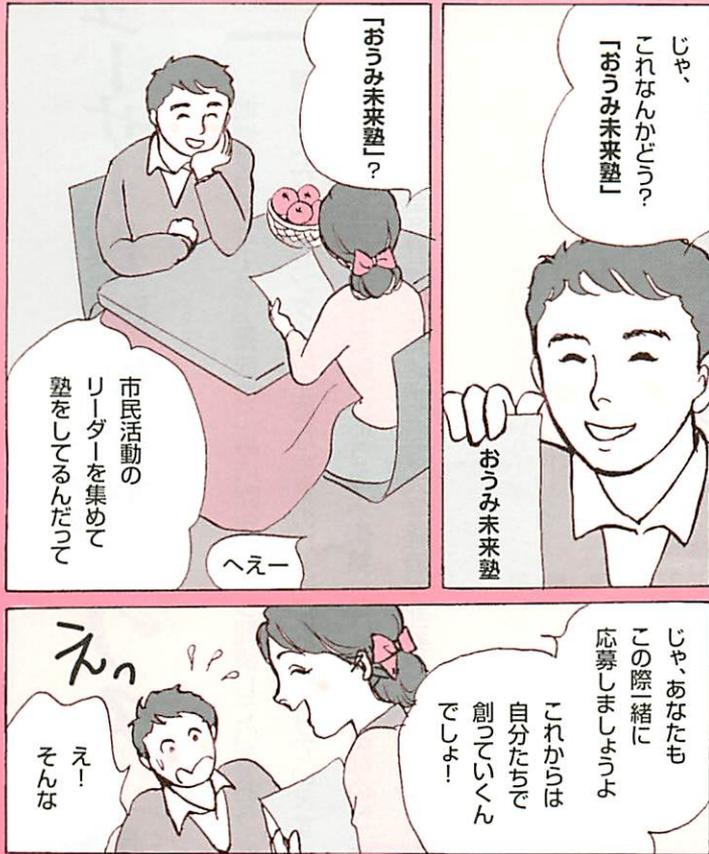


おうみネット

おうみネット

Communication Paper for Voluntary Network in Ohmi



人と人を結ぶ♥ 作 杉尾尚子 ネットストーリー

おうみ未来塾 編



トピックス

TOPICS

「地域プロデューサー養成塾
“おうみ未来塾”」

淡海ネットコラム

コーディネーターとしての役割を
スポットライト

- 大津フリースクール
- ふれあいネットワーク♪音楽療法
- 白谷荘民俗資料館茅葺きの里研究会

市民&企業&行政ネット

め・と・て・と・ねっと
近畿ろうきん

「市民主体」の時代を拓くNPOを
サポートする仕組みをつくりたい。

伝言板 1月・2月

心をむすんで リレーエッセイ

●未来への土づくり●

センター・インフォメーション

2001.1
January
No.21

淡海ネットワークセンター

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

TOPICS

地域プロデューサー養成塾

『おうみ未来塾』

地域プロデューサー養成のために昨年度から開講しているおうみ未来塾は、淡海ネットワークセンターの主要な事業のひとつに位置づけられています。

今号のおうみネットでは、『おうみ未来塾』とはどんな塾なのか、おうみ未来塾運営委員会委員長の北村裕明滋賀大学経済学部教授にお話を伺いました。

『おうみ未来塾』とは・・・

—「おうみ未来塾」はどうして生まれたのですか
北村 今日、先進的なまちづくり、環境保全、福祉の活動には、必ず市民の自発的な参加に基づいた非営利組織やボランティア団体が関係しています。そしてそうした団体には、必ず魅力的なリーダーがいらっしゃいます。非営利組織やボランティア団体が今後社会の中で力を持つためには、草の根から多くのリーダーがあらわれることが必要です。淡海ネットワークセンターは、発足当時から、非営利組織を支える人づくりを重要な柱として掲げてきました。この淡海の地で行うとすればどのようなコンセプトとカリキュラムがふさわしいのか、受講生の対象はどのようにするのかなどの議論を積み重ね『おうみ未来塾』という形になったのです。

—「おうみ未来塾」とはどんな塾ですか。

北村 これからの地域運営を考えた場合、市民団体・NPOが社会的に力をつけ、地域運営の一翼を担うとともに、行政・企業とパートナーシップを築きながら地域課題に取り組んでいくことが求められます。こうした新し

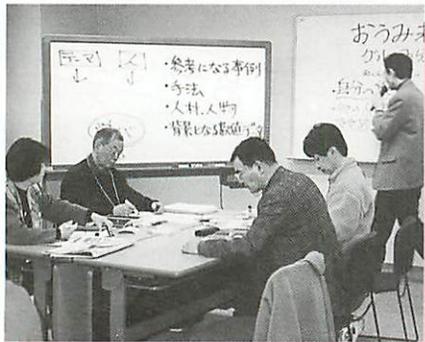
『おうみ未来塾』の育てる人材

い地域課題に取り組む魅力ある新しいリーダーを「地域プロデューサー」として位置付け、この未来塾では「地域プロデューサー」が育てることを目指しています。

—「地域プロデューサー」とはどんな人ですか。

北村 「地域プロデューサー」とは、地域の問題を発見し解決するための方策を考え、そのための運動や事業をおこなうことができる人と考えています。運動や事業をおこなうことができるという点で、リーダーやコーディネーターとは違う新しい意味合いがあります。

また、「地域プロデューサー」には、他人の意見を聞きそれを自らの主



1期生グループワーク

21世紀型の地域創造への大きな試みとして

—「おうみ未来塾」が従来のリーダー養成塾と違うところを教えてください。
北村 おうみ未来塾では、「可塑性のあるカリキュラムと塾生の参加による塾づくり」という理念を前面に掲げています。「可塑性のあるカリキュラム」とは、カリキュラムについて、ある程度塾を運営する側から示しつつ、それを一休どう運営するかについては塾生の皆さんに意見を出してもらって、塾の運営に参加していただく。そして、一緒になってカリキュラムを作り上げていくことです。

—塾へはどんな方が参加されているのですか。

北村 職業、地域などさまざまです。年齢も20才代から60才代までと幅広く、とにかく元

おうみ未来塾 開講式・記念講演



演題
「地域プロデューサーとは」
おうみ未来塾運営委員会
委員長
日高敏隆氏



2期生県内研修(黒壁)

気でですね。共通しているのは、皆さんこれまでの活動がベースにあつて、この塾で学びたいことを明確に持っている点です。

—塾では具体的にどのようなことをするのですか。

北村 1期生と2期生で若干異なりますが、基本的には1年目は講義が中心で

●おうみをかんがえる...●

淡海ネットコラム

コーディネーターとしての役割を



淡海文化振興財団
運営会議委員
CASN(カズン)
設立準備会代表
谷口 久美子

第2回目の「おうみ市民活動屋台村～のれんをくぐれば○○○○～」は9月30日、10月1日の2日間にわたって行われました。交流会、ワークショップ、発表会、展示など昨年を上回るさまざまな催しがあり、市民活動のさらなる広がりを感じたものでした。実行委員会も昨年は従来の行政下請け的な感覚をひきずって参画する団体もなきにしもあらずで、多少ぎくしゃくしたこともありましたが、今年は、ネットワークセンターと市民活動団体との役割を踏まえ、自分たちで考えて作り上げていけたのではないかと思います。

「行政、市民、企業」のパートナーシップが言われ出して4,5年になるのでしょうか。屋台村に見られるように、市民活動の広がりにはめざましいものがあります。県や市町村は市民活動を促進するための施策を積極的に進め出しています。ネットワークセンターの果たしてきた役割も大きい。しかし、現状はパートナーにはほど遠いように思います。例えばこんなことがあります。市民活動を促進するための補助金がもたらされたが、実施したら、同じような内容の事業を行政が既に計画していることがわかった。あるいは行政で大まかな企画は考えたが、具体化してくれる市民団体が必要だがそれがどこなのか分からない等。また、企業との関係においては、多くの市民活動団体にとって、もっと距離があるように思います。

そこで思うのですが、従来のネットワークセンターの役割に加えて、コーディネーターとしての役割がこれからは必要になるのではないのでしょうか。行政、企業、市民の間にたってそれぞれの実情を具体的に把握し、コーディネートしていく。現在もネットワークセンターの職員の方の個人的な力量でできている面もありますが、それをセンターの機能としていくことで、パートナーシップに一步近づけていくことができるように思うのです。

2年目はグループ研究になります。単に講義を聴いて理解するだけでなく、討論して内容を深めることに重点を置いています。それから、自分が学んだことをレポートに書いてもらう。そのレポートは塾生間で交流できるようにしています。つまり、私はこう学んだが他の人はどう学んだかを閲覧できるようにしています。また、県内研修という形で先進地に出向き、担当者と議論し、成果だけでなくその過程を学ぶようにしています。インターネットの活用は今後とても重要となってくるため、初心者対象に講習会を開催しています。グループ研究は、自ら地域の具体的な問題を取り上げ、グループで学習し、課題を発見して展望を示すということをしていただきます。現在、1期生は4つのグループに分かれ、それぞれテーマを設けて研究に取り組んでいます。

おうみ未来塾は、21世紀型の地域創造への

グループ研究の紹介

大きな試みであると思っています。ある面では実験であり、失敗することがあるかもしれません。しかし、新しい人づくりのシステムを作り上げることができれば、日本のNPOの発展と今後の滋賀の地域づくりに貢献できると思っています。

現在1期生は、この地域に未来の子どもは残れるか、という観点から地域づくりを研究する「びわこのあまち(雨落)」、資金調達と地域通貨を通じてまちづくり経営を研究する「ブレイクスルー夢デザイン」、環境を切り口にした地域づくりを考える「セブン・ドロップス」、心のバリアフリーを考える「心のバリアフリー」の4グループに分かれて研究に取り組んでいます。

1期生塾生会



2期生講義(愛東町)

※おうみ未来塾では3期生を募集します。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

トライト LIGHT!

ちづくり・・・、
活動されている方々に
活動を詳しく紹介します。

言葉を持たなかったり、人とふれあつて自分を表現することの難しい子どもたちやお年寄りや音楽でコミュニケーションしてゆく、それが2年前に誕生したふれあいネットワーク音楽療法の活動です。歌ピアノ、シンセサイザー、バイオリンの4人の音楽家が、現在、月1回障害児と週

1回老人対象のセッションに施設まで楽器を持って出向いています。楽しい気分で大鼓を叩くと楽しい曲を、沈んだ響きの時は沈んだ曲をというように、音を奏でるという自己表現に対して、その表現にあつた曲を即興で演奏し、音楽で返すことによつて、人に受け止められる喜び、人と関わることの楽しさを味わい、心を開いてもらう、それが音楽療法です。

ご自身が障害のあるお子さんをお持ちになったことでこの活動をはじめられた代表の市原幸子さん(全日本音楽療法連盟認定音楽療法士)は、「療法を受けている時、子どもたちやお年寄りは、私たちとその場を共有しているのを感じとり、生き生きと活動しています。その積み重ねにより、情緒が安定したり、自信が持てるようになったりと、個々に変化していきます。音楽療法で最も重要な基本理念は、「受容」することです。一人一人の気持ちを受け止める、共感することが大切です。効果が見えにくいためあまり認知されて



老人会でのセッションの一コマ

ふれあいネットワーク音楽療法

代表 市原 幸子さん
TEL077-562-8275
草津市野村6-15-20
人数/4人 設立/1997年

(編集ボランティア 尾木恵子)

ひとり一人の気持ちを受け止め、共感していききたい

●ふれあいネットワーク音楽療法

音楽でコミュニケーションする

閑静な住宅地の中に、「大津フリースクール」はあります。代表の永谷さんは元中学校の美術教師。教師として最も充実していたときに、「もっといろいろなことを経験したい」という思いが込み上げ、教師を辞め、7年間掛けて自転車世界を廻りました。帰国後、再び教職に戻り子ども達と接するに



代表の永谷さん

実体験型の活動を中心に子ども達とともに学んでいききたい

子どもと共に学べる場所づくりを

●大津フリースクール

つれ、外国で出会った子ども達に比べて、日本の子ども達は物質的には恵まれているものの、それ以外の部分で本当に恵まれているのか、との疑問が湧き上がってきました。将来

を担う子どもを育てることが大事。子どもとともに学べる場所をつくりたいという思いから98年6月にフリースクールを開校。「さまざまな理由で学校に行けなくなったり行かなくなった子ども達は、学びの場、居場所がなくなってしまう、家にももらざるを得ない場合が多くなってきています。そんな時、自分のペースで学び、過ごせる居場所があればそちらを選択してもよいのでは、と思います」

フリースクールは「冒険」

味で冒険です。「学校」という既存のもの以外を自分で選択しなければならぬという厳しさがありません。学校も個々の子どもになかなか対応し切れていない、という現実を受け入れはじめ、フリースクールに理解を示すようになり、ここへの出席を学校への出席と認めるケースも出てきています。現在、5人の子どもが利用していて、午前中は自主学習、午後は絵画、工芸、料理、スポーツ、野



大津フリースクールの公開講座で琵琶湖カヌー体験

外活動など自ら体験する時間をホランテニアスタッフとともに過ごしています。また、公開講座等も開催し、こうした活動を通じて支持者の輪も広がり、地域へも溶け込んでいます。「今の子ども達は、自然と触れあうことや体験する機会が少ないので、これからも、実体験型の活動を中心に子ども達とともに学んでいきたい」と永谷さんは抱負を語ってくれました。(事務局 川勝六四)

大津フリースクール

代表 永谷 彰朗さん
TEL077-578-4076
大津市日吉台2丁目7-1
人数/5人 設立/1998年

! SPOT

環境・福祉・ま

滋賀県内でキラキラ元気

スポットライトをあて、その



茅葺き屋根を葺いているところ。
こういった職人さんも年々少なくなってきている。

茅葺きの里のよさを、多くの人に

●白谷荘民俗資料館茅葺きの里研究会

茅葺きの里を残すために：

「茅葺き屋根の家に入って、ご飯を食へお茶を飲むと心が安らぎますね。そして、妙になつかしくて、すっと気持ち落ち着きますよ」ここにきてくれた人達からこんな感想が聞けるのですよ」とマキノ町にある白谷荘民俗資料館茅葺きの里研究会の大村さん。

「白谷荘民俗資料館茅葺きの里研究会」は当初、「マキノの自然環境を守る会」として10数年前にスタートしましたが、2年前から白谷地区に残る貴重な茅葺きの家の保存に活動を絞り込みました。現在会員は約20人、年6回茅葺きの家のいろりを囲んで集まり、保存のために知恵をだし、茅葺きの家の良さに親しんでもらう活動を続けています。

家を資料館に

茅葺きの里を保存し、多くの人にその良さを知ってもらうため、大村さんは運営にも工夫されています。大村さん宅の茅葺きの家は寛政3年の建築と伝えられ、代々、この辺りの庄屋屋敷でした。明治2年には戸長役場として、さらに地域の小学校として使われたことに着目し、



茅葺き屋根の民館を運営されている代表の大村進さん。

家そのものを資料館にして、滋賀県の小学校に関する資料をたくさん集め公開したり、昔の農山村の道具も展示されています。「茅葺き屋根の手入れも専門の職人さんがいてこそできる。こうした地道なことにみんなもつと気づいてほしい」という大村さんの言葉に、茅葺きの里への愛着と自分でできることを続けるという強い意志を感じました。地域資源として茅葺きの里を活かしていく、こうした経営の工夫も村おこしには必要です。ただ保存するということから、二歩踏み

込んだ活動こそが研究会の特色だと思えました。
(編集ボランティ
ア 西尾久美子)

白谷荘民俗資料館茅葺きの里研究会

代表 大村進
TEL 0740-27-0164
FAX 0740-27-1000
人数/17人 設立/1998年



め・と・て・と・ねっと★

市民&企業&行政ねっと
近畿ろうきん

「市民主体」の時代を拓くNPOをサポートする仕組みをつくりたい。



▲近畿ろうきん特派員として
NPOとのパイプ役を務める法橋さん

環境、介護、国際貢献...様々な課題の担い手としてNPOへの期待が高まり、近畿ろうきんでは'98年秋にNPOと協働するための地域福祉開発室を新設した。翌年、ボランティア団体の草分けである大阪ボランティア協会のNPO推進センターに同室次席調査役の法橋さんが出向。大阪府から緊急雇用安定プロジェクトの受託を受けたNPOへの人材派遣や企業で不要になった什器や備品をNPOへ仲介するほか、シニア世代の元気なパワーをNPO現場へボランティアとして繋いだり、大規模なNPOフォーラムを成功させ共感の和を広げた。

「NPOに不可欠なのはインフラ整備です。市民活動を市民が支えるという魅力ある仕組みをつくれれば、市民全体がもっと豊かに暮せ

るはず」というNPOとの具体的な「協働」の形が、近畿ろうきんの経営計画に盛り込まれ、NPO融資や毎月100円からできるNPOへの寄付金自動振替制度が開始、他金融機関からも注目されている。担保主義に拘らない「市民参加型や共感性・地域貢献度」などを経営



資源と見なす新しい時代を切拓いた。市民とNPOを繋ぐ近畿ろうきんの先進性は、21世紀に向かって「官独占の福祉」から「市民主体の福祉」へと飛躍させる一翼を担っている。

ホームページではボランティア情報を発信中。
<http://rokin.or.jp/>

●お問合せ／(社福)大阪ボランティア協会 NPO推進センター
TEL.06-6357-8391 FAX.06-6358-2892

3・4月の掲示板
情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、2月10日までに
FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

近畿ろうきんNPOフォーラムin兵庫
「多様な協働が21世紀の地域をつくる」
1月27日(土) 12:30~

会場●中央労働センター(神戸市
中央区山手通)
問合せ●近畿労働金庫地域福祉開発室
TEL 06-6942-1871

おうみまちづくりフォーラム(1)

①彦根市「歴史的町並み保存から
商店街の再生へ」
講師●中島一氏(彦根市長) 戸所
岩雄氏(計画工房代表)
コーディネーター●北村裕明氏(滋
賀大学経済学部教授)

日時●1月30日(火) 13:30~16:30

場所●ホテルサンルート彦根
②近江八幡市「八幡堀の保存から
津内内湖の再生へ」

講師●川端五兵衛氏(近江八幡市長)
中田全一氏(ハートランド推進財団
事務局長)

コーディネーター●北村裕明氏(滋
賀大学経済学部教授)

日時●2月8日(木) 13:30~16:30

場所●滋賀大学経済学部第2校舎
棟2階23講義室

③愛東町「持続可能な地域へ挑戦」
講師●権並清氏(愛東町長) 藤井
絢子氏(滋賀県環境生活協同組合理事長)
コーディネーター●北村裕明氏(滋
賀大学経済学部教授)

日時●2月14日(水) 13:30~16:30

場所●ホテルサンルート彦根
※参加料無料

問合せ●滋賀大学産業共同研究センター
TEL/FAX 0749-27-1141

健康づくり自主グループ”ふらいばん”
第2回お父さんのための料理教室
2月10日(土) 9:30~

場所●水口町保健センター
内容●ガンを予防する献立の調理
実習と栄養士の講話
参加費●500円※水口町に在住ま
たは在勤の男性のみ エプロン・三
角巾・筆記用具を用意すること
問合せ●水口町保健センター
TEL0748-62-5336

子育て連続講座~ウレタン人形作
りワークショップ~
2月10日(土) 13:00~

場所:草津コミュニティ支援センター
講師●丹下進氏 参加費●600円
問合せ●NPO子どもネットワーク
センター天気村
TEL077-564-7868

参加者募集

やまぼうし(フリースペース)
グループ活動・メンバー募集

内容●不登校や引きこもり傾向の
ある青少年(年齢不問)が集まって、
スタッフと一緒にグループ活動をし
ています。彦根YMCAに集合して、
活動によっては外出します。

参加費●おおむね1000円

問合せ●彦根YMCA
TEL0749-23-1646

びわこシェル探検
「出前教室」注文募集

内容●びわこシェル探検のメンバーが
6年間にわたって集めた貝殻の標本を
みてもらって、これまでに調べたり勉強
したりしたことを、次代の子やその親た
ちに伝えたい。

対象●小・中学生 子ども会単位ま
たは学級単位

申込・問合せ●びわこシェル探検の世話人
077-522-7958(多湖) 19時~21時
077-546-7508(田中) 19時~21時
090-8989-2825(赤澤) 随時

多賀大社雅楽講座 2月~11月
第2・4日曜 19:00~

内容●初心者対象・笙、箏、龍笛
に分かれて練習し、2曲演奏できる
よう指導する。

会場●多賀大社参集殿

参加費●年間受講料20,000円

締切●1月末日

問合せ●多賀大社雅楽講座事務局
TEL 0749-48-1101

多賀創世塾9期生募集
2月~11月(月1回・年10回)

内容●地域の伝統文化を基盤として、
それを継承し、発展させる感性豊かな
人材育成を目的とする塾。

参加対象●昭和31年以降に生まれ
た男女

会場●多賀大社参集殿

参加費●30,000円

締切●1月10日

問合せ●多賀大社文化振興基金
TEL 0749-48-1101

劇団かいつぶり
アート作品・ラブソング募集

内容●滋賀県を舞台にした作品公
演の開催中に滋賀県あるいは琵琶
湖をイメージした作品を集めたア
ート展を開催します。また劇中に使
用するオリジナルラブソングを募集

します。

公演予定●4月29日(日) 滋賀会
館大ホールほか、県内を巡演予定。
上演作品は「あした、あの景色が見
えたら」(竹山香作)
募集作品●滋賀県や琵琶湖をイメ
ージしたオリジナル作品・1人5点程度・
新作でなくても可・作品の写真および
プロフィール(200字程度・様式
不問)を送付。ラブソングについて
はデモテープおよびプロフィール(活
動歴・作品紹介など200字程度・様
式不問)を送付

応募締切●2月23日(金) 必着

問合せ●劇団かいつぶり(鈴鹿)

草津市笠山5丁目3-65-911

TEL090-9707-8413(スズカ)

TEL090-9881-4810(タケヤマ)

e-mail:kaituburi@post.tok2.com

天気村

こんべいとう保育園園児募集中

内容●のびのびと育てる自由保育
園です
ベビーブレイククラス(0歳児~2歳児)
キッズブレイククラス(3歳児以上)
月額保育料●週2回16,000~(9
:30~15:00)

問合せ●NPO子どもネットワーク
センター天気村

TEL 077-564-7868

お知らせ

ダイニクアストロパーク天究館
臨時休館のお知らせ

12月28日(木)~3月20日(火)

内容●館内改装等のため臨時休館
いたします。期間中は天文公園の
利用もできませんのでご了承下さい。
問合せ●ダイニクアストロパーク天究館
TEL 0749-48-1820
e-mail:astro@dynic.co.jp

地域の子育て情報が
1冊の本になります

内容●サークル情報・リサイクルシ
ョップまたは子連れ外食スポット、
美容室、エアロビ、スイミングスク
ール等の託児付の事業者情報を集
めています。掲載無料。

問合せ●NPO子どもネットワーク
センター天気村
TEL077-564-7868

助成金情報

(財)国際開発救援財団

平成13年度民間海外援助活動助成

対象団体●開発途上国の住民の生
活向上のために援助事業を行おう
とする団体で、次の要件を満たすも
の。①開発途上国における援助事
業を主たる事業目的としていること
②日本国内に住所または事務所
を置き責任の所在が明確であること
③助成対象事業を推進する上で
十分な管理能力を有すると認めら
れること

詳細は下記またはホームページで
受付期間●1月19日必着

応募方法●募集要領の請求は送付
先(団体の場合は団体名、担当者名)
を明記し、ハガキ、ファックスまたは

e-mailで下記まで

問合せ●(財)国際開発救援財団(担
当・宮崎)

〒169-0073 東京都新宿区百
人町1-17-8-2F

E-mail miyazaki@fidr.or.jp

URL <http://www.fidr.or.jp>

全労済第10回助成活動

内容●「地球の環境と生態系を守る」
および「高齢者が住みやすい社会
づくりを進める」

応募要項●①申込書の請求/官製
ハガキに団体・グループ名および代
表者名、所在地、電話番号を明記の上、
必ず「環境問題」か「高齢社会問題」
いずれかの「応募案内」希望と記入
して、全労済の各都道府県本部まで
②提出/所定の申込書(添付参照)
に必要事項を記入し、会則、規則な
ど団体の組織や運営について定め
たものを添付して、全労済の各都
道府県本部まで。※封筒の表に必
ず「<環境問題>または<高齢社
会問題>」と朱書すること

③締切/2月28日

問合せ●全労済 経営企画部 調査
国際課 加藤または十河

〒151-8571 東京都渋谷区代々
木2-12-10

TEL:03-3299-0161(代表)

FAX:03-5371-2685

<http://www.zenrosai.or.jp>

あなたが参加してみて感じたこと、気が付いたことをお待ちしています。

1月・2月 伝言板

イベント

ビデオシアター

毎月第3土曜日 無料です!!

1月20日(土) 10:00~14:00~

内容●「天と地」

2月17日(土) 10:00~14:00~

内容●「カラーパブル」

問合せ●県立女性センター

TEL0748-37-3751

クリスマス大津ニューミレニアム・ライド

1月6日(土) 15:00~

内容●自転車でまちなかを走ります

場所●浜大津OPA交番前集合

参加費●無料 自転車1台と自己責任

問合せ●090-19540726(中川)

selesta@ky.xaxon.ne.jp

大津おやこ劇場・春いちばんのおくりもの

ピアノ&フルートコンサート

1月14日(日) 14:00~

場所●大津市民会館

参加費●1400円(1人)4000円

(3人)5000円(4人)

問合せ●大津おやこ劇場

TEL077-525-4578

「えんとこ」映画会

1月20日(土) 13:00~

内容●寝たきりの障害者と介助の若者たちの日々を記録したドキュ

ンタリー

会場●守山市民ホール

参加費●前売り800円 当日950円

問合せ●077-583-6579(広美)

trm48@skyblue.ocn.ne.jp

草津・栗東おやこ劇場講演会

「子育てはあたたかく

やわらかくゆったりと」

1月20日(土) 14:00~

場所●草津コミュニティ支援センター

内容●増山均氏(日本福祉大学教授)

による講演 参加費●300円

問合せ●アニメーション(草津栗東

おやこ劇場内)

TEL077-564-2847

滋賀県脳卒中者友の会

「淡海の会」新年会

1月27日(土) 12:00~

場所●琵琶湖ホテル

参加費●3800円

問合せ●077-546-1366(清水)

※障害に負けず自立を目指し、家

族も交えてさまざまな活動に取り

組んでいます。入会者歓迎

国際シンポジウム

「男女がともに輝く21世紀のまちへ」

1月27日(土) 13:00~

場所●立命館大学内ローム会館

内容●ノルウェー環境省局長マ

ーリット・クレーヴェラン氏による

基調講演とパネルディスカッション

参加費●無料

問合せ●草津市パートナーシップ

推進課内男女共同参画担当

TEL077-561-2326

全国ボランティアコーディネーター研究集会

コーディネーターが拓く21世紀の扉

~市民の参加を支えるプロを目指して~

1月26日(金)~27日(土)

会場●大阪府立女性総合センター

参加費●全参加10,000円(資料

代込み)1日参加6,000円(資料代

別途1,000円)

申込・問合せ●〒530-0035

大阪市北区同心1-5-27社会福祉

法人大阪ボランティア協会気付

全国ボランティア・コーディネー

ター研究集会2001実行委員会

TEL06-6357-5741

FAX06-6358-2892

大津おやこ劇場

①「ベイブ・ハンナのダンスイズファン」

~ベイブハンナと一緒に楽しくダ

ンスをおどりましょう

②「ベイブ・ハンナの黒人ダンスの歴史」

~ベイブハンナが黒人ダンスの歴

史をわかりやすく教えてください

1月28日(日)①14:00~②18:30~

場所●ピアザ淡海ピアザホール

参加費●3000円(会員は会費から)

問合せ●大津おやこ劇場

TEL077-525-4578

長浜おやこ劇場第91回例会

「生きててよかった」

げきだんはてな公演

2月1日(木) 18:30~

内容●3人の役者が歌って踊って

縦横に走り回りながら、それぞれの

自分史を語ります。

場所●長浜勤労者総合福祉センタ

ー「臨湖」多目的ホール

参加費●2500円(会員無料)

※会員募集中!入会金300円

問合せ●長浜おやこ劇場

TEL0749-64-1527

NPO法人サタデーピア・心に響く

癒しのひととき「加古隆コンサート」

2001年4月29日(日) 15:00~

場所●彦根市文化プラザ

入場料●前売 A席(指定)4000

円 B席(自由)3000円

問合せ●南彦根クリニック内NPO法人サタデーピア

TEL0749-24-7808

交流会・勉強会

関西公共政策研究会第1回研究会

1月6日(土) 14:00~

場所●京都大学大学院人間・環境学

研究科棟433号室

問合せ●関西公共政策研究会事務局

京都大学大学院人間・環境学研究科

足立幸男研究室内

TEL075-753-6595

FAX075-753-2896

「ひこね災害ボランティアネットワーク」

設立記念講演会

1月13日(土) 15:15~

場所●ひこね市文化プラザ

内容●講演「災害ボランティアネッ

トワークの役割」瀧美公秀氏(日本

災害救援ボランティアネットワー

ク理事)

参加費●無料

(参加希望者は事務局まで)

問合せ●ひこね災害ボランティア

ネットワーク設立準備事務局

((財)滋賀YMCA内)

TEL0749-23-1646

sigaymca@grn.mmtr.or.jp

生き方研究会・滋賀大津交流会

1月14日(日) 13:30~

場所●大津市生涯学習センター

参加費●500円(初回無料)

生き方研究会・滋賀草津交流会

1月16日(火)・2月13日(火)

19:00~

場所●ウィングパレスくさつ

参加費●500円(初回無料)

生き方研究会・滋賀わかさ交流会

1月17日(水)2月21日(水)

13:00~

場所●光澤寺(神崎郡五箇荘町)

参加費●500円(初回無料)

上記の問合せはすべて

090-7872-7642(松井)

災害ボランティアコーディネータ

リーダー等育成支援事業

災害研究会「有事に備えて」

1月20日(土) 13:30~

内容●基調講演 亀田弘行氏(京

都大学防災研究所)パネルディス

カッション

場所●草津サンサンホール1F大ホール

参加費●無料

問合せ●草津市企画部自治振興課

心をむすんで* りレエッセイ

●未来への土づくり●

北遊遊倶楽部 樋口 善和



私がまちづくりに参加するきっかけは、一本の電話が始まりでした。江戸時代の国文学者、北村季吟のふるさとに住んでいながら、まちづくりに消極的だった私を導いてくれたのは、今のスタッフ達でした。そこで、目的意識と遊び心を持ち、固定観念にとらわれない自由な発想で物事を作っていき魅力にひかれました。今では、北村季吟を顕彰し、子どもからお年寄りまで幅広く楽しんでもらうために、皆で多くのイベントを開催しています。まちの人達が楽しんでいる姿に、次ががんばる活力をもらっています。今は、子ども達が将来大きな花を咲かせてくれるための土づくりだと考えています。平成17年に北村季吟没後300年を見つめた活動に向けて、これから進化しつづけます。

今回は今津町の白坂登世美さんです。

CENTER INFORMATION

淡海ネットワークサロンのご案内

■テーマサロン■

●第3回 障害を持つ人にとって住みよい町とは？
日時/2月17日(土) 13:30~15:30
場所/つがやま荘 3F 葵の間(守山駅東口下車スグ)
ゲスト/さわらび作業所 金子秀明さん
参加費/200円(お茶代等)
共催/ふれあいネットワークの会

第4回 おうみ市民活動交流会のお知らせ

様々な分野で自主的な活動に取り組む団体やグループが集い、活動を進めるうえでの知識やノウハウを交換・交流し、またネットワークを形成することを目的に開催します。

- 日時/3月3日(土)
13時~16時30分
- 場所/彦根勤労福祉会館たちばな
(彦根駅下車徒歩5分)
- 内容/基調講演・分科会
※詳細は後日お知らせします。

市民活動データベースの登録受付中

淡海ネットワークセンターでは、県内でまちづくりや環境などさまざまな分野で活動されている団体のデータベースを作成し、現在約650団体が登録されています。

また、このデータベースをもとに、登録されている団体の活動内容などを掲載した冊子「淡海NPOデータファイル」を発行します。センターではデータベースへの登録を随時受け付けています。登録ご希望の方はセンターまでお問い合わせ下さい。

淡海ネットワークセンター 運営会議委員の募集

淡海ネットワークセンター(財団法人淡海文化振興財団)では、センターの運営に広く県民の意見を反映することを目的に運営会議を設置しています。この運営会議の委員を次のとおり公募します。

- ①募集人員/5人以内②応募資格/県内に居住または勤務し、市民活動を実践しているが市民活動に関心がある20歳以上(3月1日現在)の方③任期/2001年4月から2003年3月まで(2年間)④職務/運営会議に出席して、淡海ネットワークセンターの運営について広く意見を述べていただいたり、提言していただきます。会議は概ね年間6回程度を予定しています。また、センター主催事業への参加や協力をしていただきます。⑤謝礼/会議出席時に、報酬および旅費を支払います。⑥応募期限/2001年3月9日(金)必着⑦その他/応募用紙、応募方法など詳しくはセンターまでお問い合わせ下さい。なお、結果は、4月上旬に応募者全員に通知します。また、提出された応募書と意見書はお返ししませんので、ご了承ください。

おうみ未来塾第1期生グループ研究成果発表会

おうみ未来塾第1期生の4つのグループが、この1年をかけて研究してきた成果を発表します。

- ◆日時/3月11日(日)13時~
- ◆場所/ピアザ淡海2F県民交流センター
207会議室

※参加ご希望の方はセンターまでご連絡下さい。

お知らせ

毎月第1日曜日に滋賀の元気なNPOを楽しく紹介しています!

- ◆淡海ファーストサンデー「わくわくNPO倶楽部」
BBCびわ湖放送にて、毎月第1日曜日
18時~18時30分放送中!

ご案内

◆ブックレットVol.12発行

わくわく市民活動セミナーの記録をまとめた淡海ネットワークセンターブックレットVol.12を発行しました。

「地方分権と市民社会」
富野暉一郎さん
(龍谷大学法学部教授)
1冊300円(送料別)です。
ご希望の方はセンターまで。



Voice

フレンズ・ネットワーク

「フレンズ・ネットワーク」では、様々な病気・障害を抱えていたり、ご両親が共働き、家族や友達が不在などの事情から、地域の中で孤立した生活を送っている子供さんからお年寄りのお家まで訪問し、友達感覚の話し相手になることを通じて癒しを行う「コミュニケーション・ワーク」に取り組んでいます。対人関係や社会生活に対する不安を抱え、自分の世界に閉じこもったり、人間関係を上手く結べない子供や青年の回復を支えたり、親の方を対象とした相談活動なども行っています。

※尚、スタッフ訪問の際の交通費などの実費と補助(任意)は、依頼者の負担になります。

連絡先●フレンズ・ネットワーク事務局(的場博之)

TEL 077-529-2559
FAX 077-529-2920

あけましておめでとうございます。編集後記 本年もよろしくお願いたします。

今回の特集では、センターの主要な事業のひとつである“おうみ未来塾”を取り上げました。“おうみ未来塾”では“地域プロデューサー”を目指す方々が、熱心に講義を聴き、議論を重ねています。また、講義だけでなく、講義のあとの集まりも盛んで、“大人の合コン”とも“癒しの場”ともいわれています。県内各地で活動されていた方々が、未来塾に参加することで、また新しい人とのつながりが出来ること、これが“おうみ未来塾”の一番の魅力ではないかと思えます。

ところで、この塾でもやはり女性がとても元気です。おうみネットの取材でいろいろなグループや団体を訪れても感じるのですが、市民活動では女性の活躍がとても目立ちます。男性のひとりとして、男性にもがんばって欲しいと思います。今号から21世紀。市民活動の輪がより広がりより活発になっていくよう、ネットワークセンターは21世紀も皆さんの活動を応援していきます。ご支援をよろしくお願いたします。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20
- TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
- http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net
- E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)
火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

